

福岡県議会令和5年9月議会 自民党代表質問が行われました !!

令和5年9月14日（木）、自民党の大田満議員が「アジア新興・人獣共通感染症センター（仮称）の九州への誘致について」、代表質問を行われました。



大田満議員



服部誠太郎知事

【質 問】

「アジア新興・人獣共通感染症センター（仮称）」の九州への誘致について

九州議長会として、国に要請活動をされることになったと聞いております。

このように、九州が一体となって誘致に取り組む体制が整い、機が熟した今、知事におかれても、改めて、国に対し要請活動を実施されてはどうか。

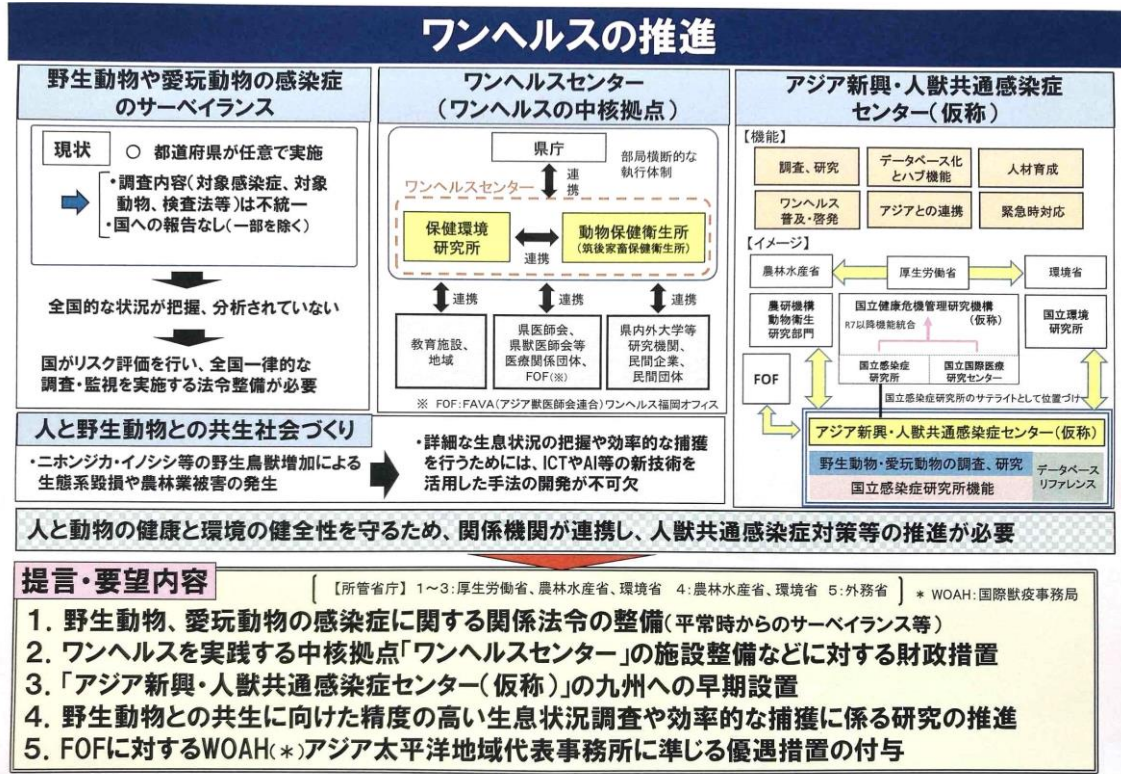
【知事答弁】

「アジア新興・人獣共通感染症センター（仮称）」の誘致につきましては、令和2年10月の九州地方知事会議において特別決議として採択されました。それ以降、九州地方知事会から九州への早期設置を国へ提言いたしております。

また、福岡県におきましても、令和2年度から議長とともに、最重点項目として国へ提言・要望してきたところです。

今後は、九州議長会の要請活動を踏まえまして、感染症研究に取り組む九州大学や長崎大学をはじめとする各県の大学や衛生研究所、ワンヘルスに関わる国際機関との連携の下、構想案をより具体化し、九州地方知事会議において賛同を得た上で、九州一体となって国へ提言・要望できるよう努めてまいります。

【アジア新興・人獣共通感染症センター（仮称）】



(国に対する提言・要望書 令和5年7月：福岡県)

九州は、地理的にアジア諸国由来の人獣共通感染症、気候変動による蚊やダニ等の媒介動物由来の感染症が流行するリスクが高い地域です。

また、国際的な課題となっている薬剤耐性対策については、アジア各国から我が国の知識・人材・技術が求められています。

これに対応するためには、アジア諸国由来の人獣共通感染症や薬剤耐性についてワンヘルス・アプローチによる対策を行う拠点が必要になります。

そこで、福岡県では、アジア各国、九州各県、大学等が連携して、人獣共通感染症や薬剤耐性対策を行う「アジア新興・人獣共通感染症センター（仮称）」を九州に早期設置するよう国に働きかけています。

2023年9月15日

福岡ワンヘルス協議会・事務局